

アルコール依存症患者の入院ケア で求められる医療従事者の役割

～身体症状と易怒性に対する多職種アセス
メントとアプローチ～

医療法人耕仁会札幌太田病院 リワーク地域連携棟

○金子真弓（准看護師） 菅原吉晃（看護師）

はじめに

- 近年、身体合併症を伴う高齢アルコール依存症患者が増加
- 今回報告する事例
 - 腰痛と心不全によりアルコール依存症治療停滞、易怒性への対応が困難であった高齢患者に対して多職種でのアセスメント・アプローチ

症例紹介

A氏 70代男性

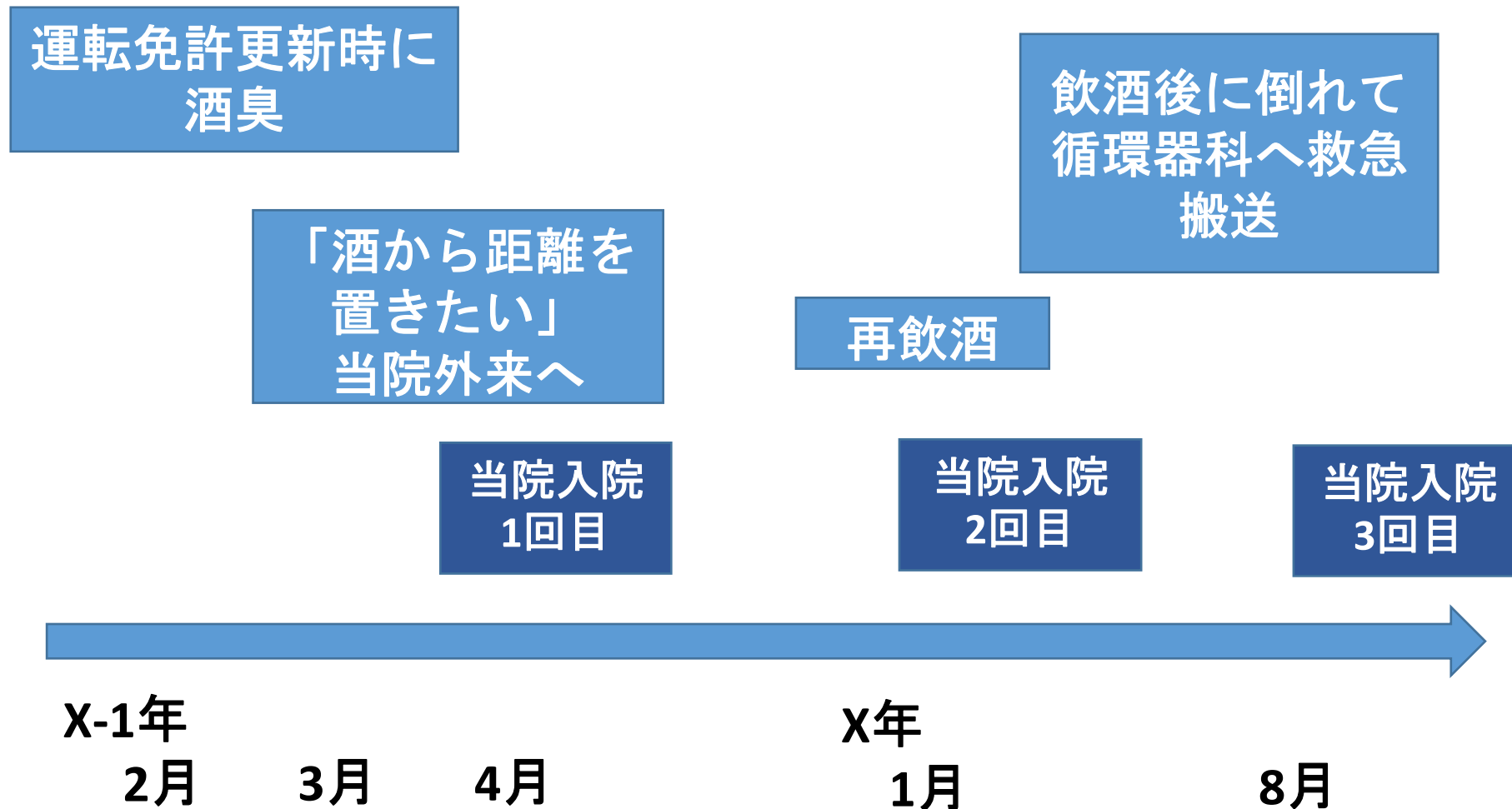
診断名：アルコール依存症

既往歴：心房細動・脂質異常症・心臓弁膜症・
腎機能障害・腹部大動脈瘤（ステント
グラフト内挿後）

職歴：建築業で30年勤務し退職

家族構成：30代で結婚→約7年後に離婚
2人の娘がいる
妹夫婦の2世帯住宅に独居（別階）

今回の入院までの経過



急性期
治療病棟

2階病棟

1階病棟

入院治療

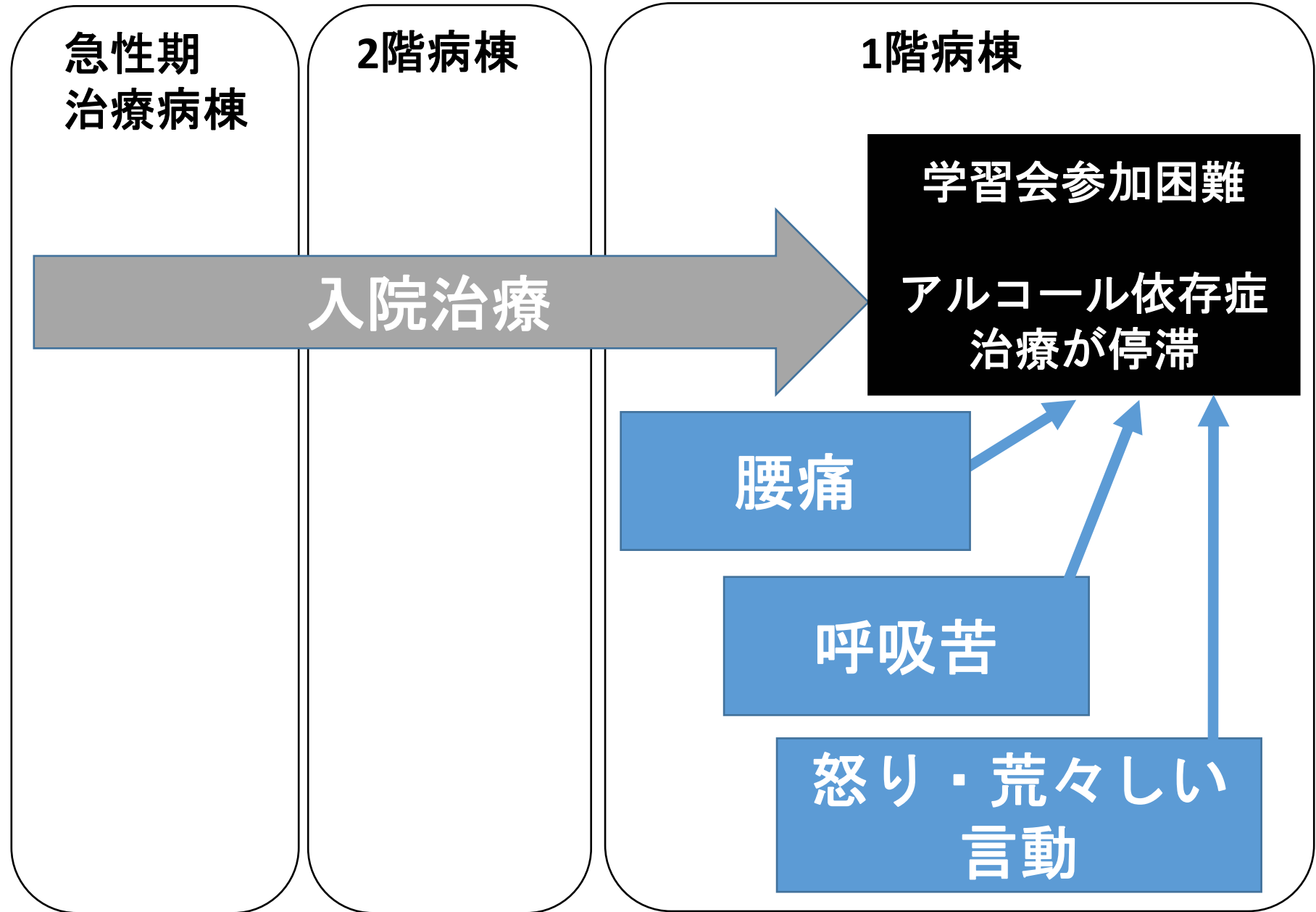
学習会参加困難

アルコール依存症
治療が停滞

腰痛

呼吸苦

怒り・荒々しい
言動



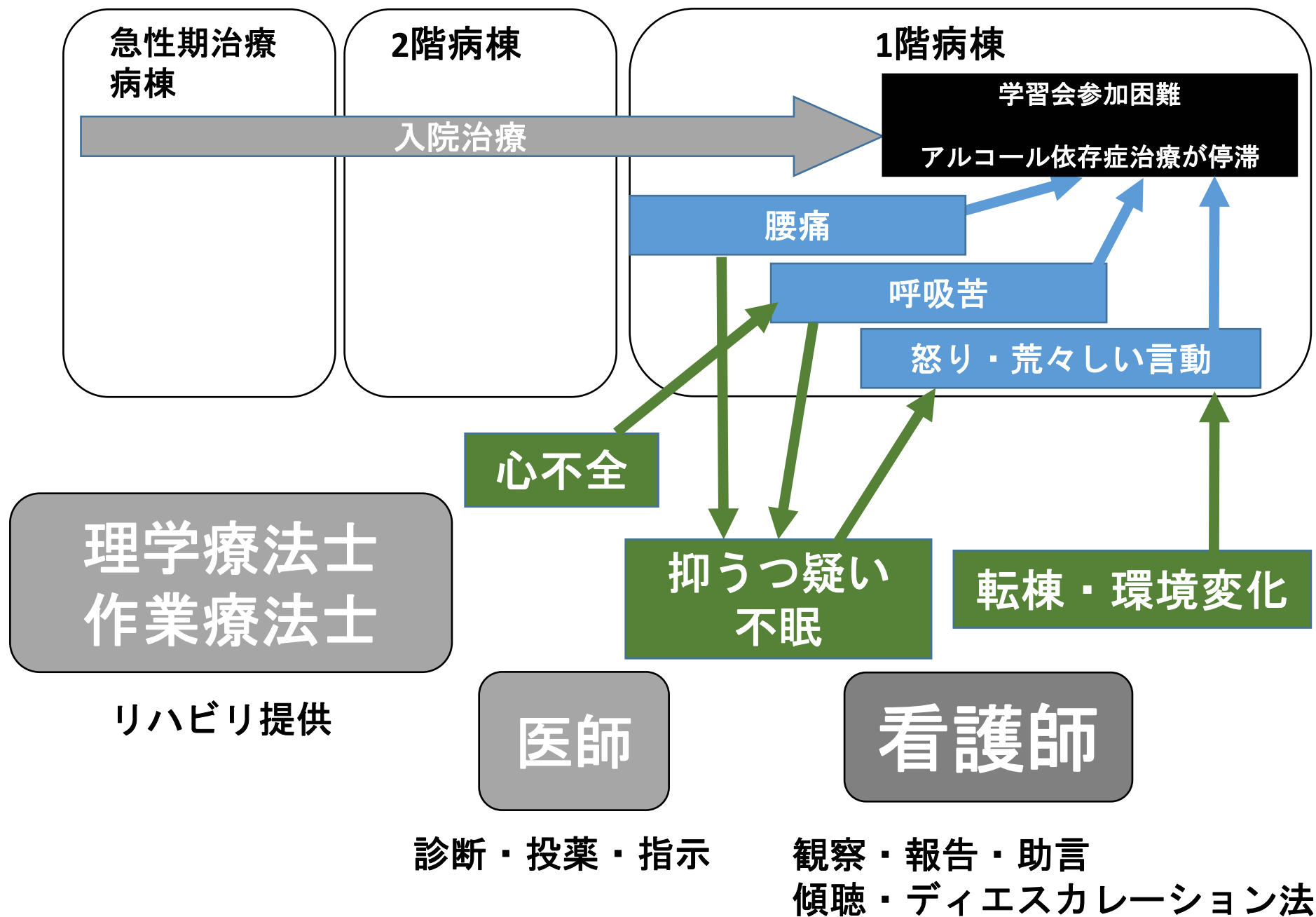
怒りの表出 ←→ 看護師の思い

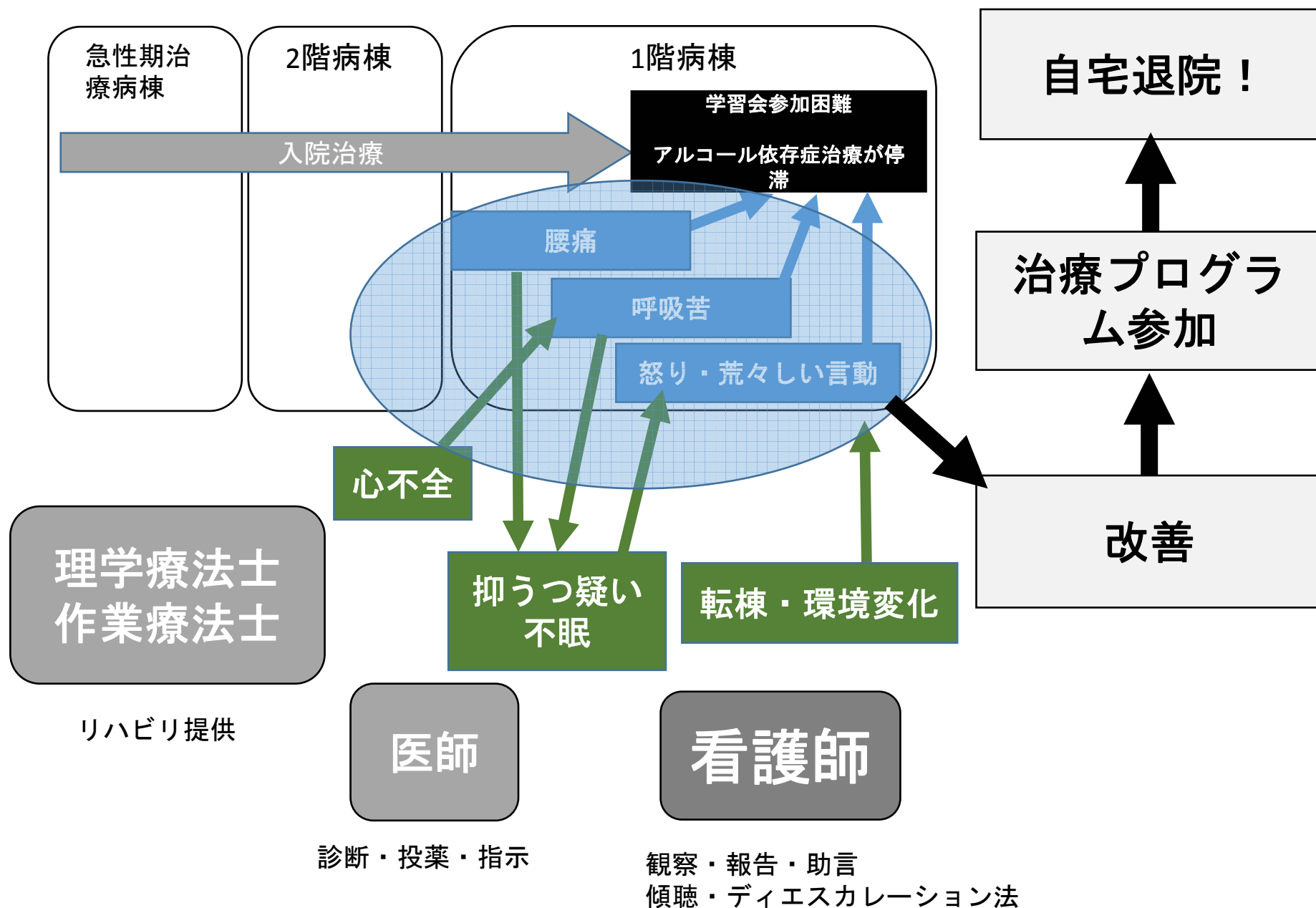
痛みが増強すると
大声や奇声をあげ
たり暴言で怒鳴る

怖いなあ
どうしたら怒らせな
いで対応できるだろ
うか

床にゴミ箱を
叩きつけたり
足で床を強く
踏みつけたり
する

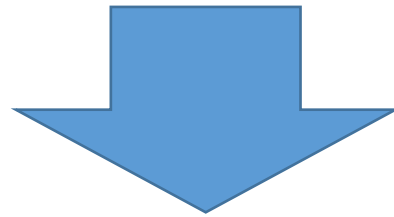
痛みの原因は何だろう？
どうしたら痛みが緩和さ
れるだろう？





考察 1)

怒りや荒々しい言動に対して・・・
「寄り添いたい」vs「恐怖感・戸惑い」



- ・ 患者の感情や行動の背景には理由がある
- ・ 適切なアセスメント&アプローチで改善へと導ける
- ・ 看護師だけでなく多職種で身体疾患をアセスメントすることが重要である

考察 2)

HALT (ハルト)

H...HUNGRY 空腹

A...ANGRY 怒り

L...LONELY 孤独

T...TIRED 疲労

【参考文献】

松本俊彦・小林桜児・今村扶美 著

薬物・アルコール依存症からの回復支援ワークブック

金剛出版 2011

考察 3)

近年のアルコール依存症患者特徴

- ・ 高齢化・身体疾患の合併症
- ・ 身体疾患に伴う精神的不調
(例：痛みによる怒り、辛さ、不眠)



アルコール依存症の治療（学習会参加、
心理療法参加など）が滞る

多職種でのアセスメント&アプローチの
重要性